

獣医師の皆様へ

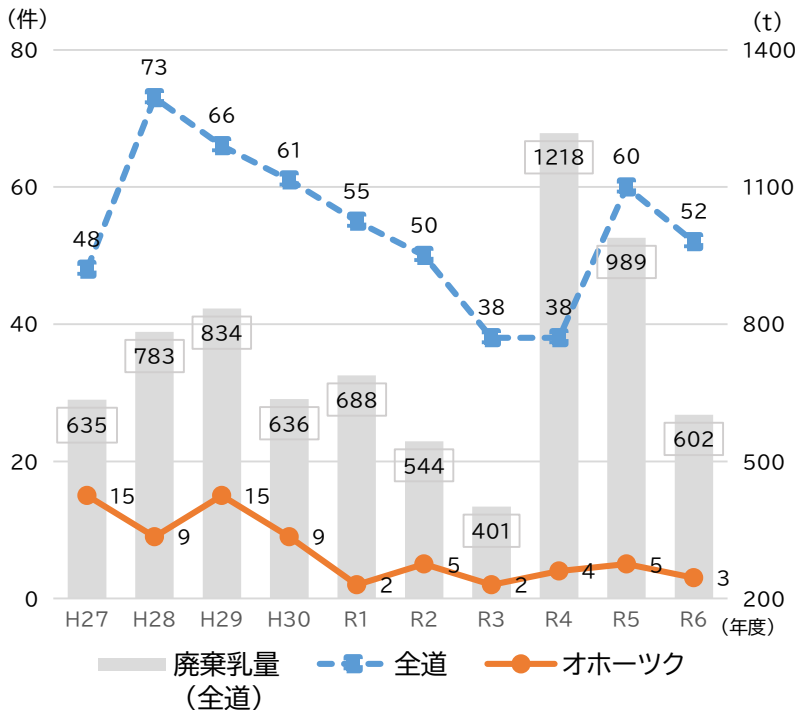
畜産物への抗菌性物質残留事故が発生しています！

今年度、管内では生乳への抗菌性物質残留事故がすでに2件発生しています。例年7～9月の繁忙期は発生が増える傾向にありますので、飼養者への啓発・指導をお願いするとともに、動物用医薬品の使用・処方時は以下の点に注意をお願いします。

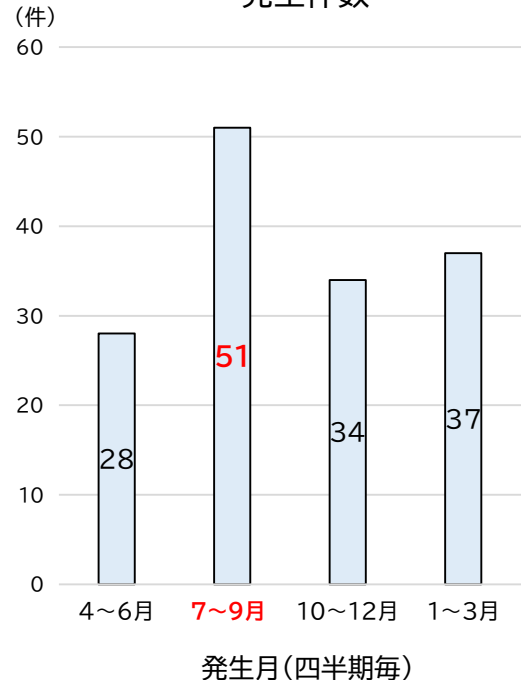
- 出荷できない期間を確実に指示してください
- 抗菌剤以外の使用規制医薬品や休薬期間が設定された動物用医薬品についても、出荷できない期間の指示をお願いします
- 残余薬による自家治療が行われないよう、回収を徹底してください

<参考資料>

過去10年間の全道及びオホーツク管内における生乳への抗菌性物質残留事故件数と廃棄乳量の推移



全道における過去3年間の生乳への抗菌性物質残留事故発生件数



【オホーツクから安全・安心な畜産物を提供しましょう！】